

【プレート境界（3種類）の動的モデル製作に向けた動的モデルの計画書】

選択 34 地学基礎

3年（ ）組（ ）番（ ）

【単 元】：プレートの境界

【学習内容】：前時までに学習した3種類のプレート境界についての動的モデルを作製します。動的モデルの製作に向けて、各自、まずは構想を練って下さい。その際、以下の留意点に注意し、計画書の作成にあたって下さい。

〔留意点〕・各プレート境界の動的モデルのデッサンも描いて下さい。

・動的モデルの製作に向け、こちらで準備するものは、色画用紙（4色）、スポンジ、アクリル板、油粘土、空箱、ハサミ、カッター、テープ等です。

・上記記載の材料以外を用いて、動的モデルを製作したい場合は、各自材料を持ってきて下さい。

(1) プレート境界（発散境界 Ver）の動的モデル計画書

使用する材料⇒

動的モデルの作図⇒

(2) プレート境界（収束境界 Ver）の動的モデル計画書

使用する材料⇒

動的モデルの作図⇒

(3) プレート境界 (すれ違う境界 Ver) の動的モデル計画書

使用する材料⇒

動的モデルの作図⇒

〔補足事項〕

・実際に製作したプレート境界の動的モデル (3 種類) については、授業内で、どのような点を工夫したかも踏まえ発表します。

・他の受講者の発表を良く聞き (別紙):『プレート境界動的モデルの発表を聞いて』に以下の観点を記入します。

観点 1 : 他の受講者の動的モデルと自分の動的モデルを比較して、気が付いたこと

観点 2 : 発表者の動的モデルについて、その完成度 (特徴を捉えているか等も含めて) を評価する

観点 3 : 発表者の動的モデルについて、(発表者が) 工夫した点を言語化できていたかどうかを評価する

観点 4 : 一連の取組 (動的モデルの計画書作成⇒動的モデル製作⇒発表) の過程を評価 (※自己評価)

『プレート境界動的モデルの発表を聞いて』

選択 34 地学基礎

3年()組()番()

観点1：他の受講者の動的モデルと自分の動的モデルを比較して、気が付いたこと

観点2：発表者の動的モデルについて、その完成度（特徴を捉えているか等も含めて）を評価する
（※客観的評価 / 自己評価）

観点3：発表者の動的モデルについて、（発表者が）工夫した点を言語化できていたかどうかを評価する
（※客観的評価 / 自己評価）

観点4：一連の取組（動的モデルの計画書作成⇒動的モデル製作⇒発表）の過程を評価（※自己評価）

観点1：

発表順番	発表者	発散境界Ver (気が付いた点)	収束境界Ver (気が付いた点)	すれ違う境界Ver (気が付いた点)
1				
2				
3				
4				

観点2：

発表順番	発表者	発散境界Ver (動的モデルの完成度)	収束境界Ver (動的モデルの完成度)	すれ違う境界Ver (動的モデルの完成度)
1		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C

〔備考〕

評価A ⇒ プレート境界について、良く特徴が捉えられた動的モデルである

評価B ⇒ プレート境界について、まあまあ特徴が捉えられた動的モデルである

評価C ⇒ プレート境界について、あまり特徴が捉えられていない動的モデルである

観点 3 :

発表順番	発表者	発散境界Ver (発表時の表現・言語化)	収束境界Ver (発表時の表現・言語化)	すれ違う境界Ver (発表時の表現・言語化)
1		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4		A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
〔備考〕 評価A ⇒ 製作したプレート境界の動的モデルについて、 <u>工夫した点など、上手く言葉で表現されていた</u> 評価B ⇒ 製作したプレート境界の動的モデルについて、 <u>工夫した点など、まあまあ言葉で表現されていた</u> 評価C ⇒ 製作したプレート境界の動的モデルについて、 <u>工夫した点など、あまり表現されていなかった</u>				

観点 4 :

過程	計画書の作成	動的モデルの製作	発表 (プレゼン)
自己評価	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C